

3 情報を読み取り、説明する学習

～図表を読み取り、説明することにつまずきのある生徒への指導実践～

学校生活支援シート（個別の教育支援計画）より

2 現在のお子さんの様子（得意なこと、頑張っていること、不安なことなど）

- ・公式があり、解き方が決まっている計算などは得意だが、図表を使った問題や文章問題が苦手である。
- ・情報を整理し、表現することが苦手である。

3 支援の目標

- ・図表を読み取り、根拠に基づいた説明ができるよう支援する。

短期個別指導計画に
具体的な目標を設定

当期（6/1～7/20）の短期目標と手だて

目標

図表から必要な情報を読み取ることができるようになる。

手だて

学習教材を使用し、図表の無関係な情報を除外したり、同じレベルの 카테고리で分類したりして、グラフの構成を学習する。

使用する教材

レベル1の教材

(→P37)

情報活用能力を身に付け、論理的に説明することを目指すための教材です。

図表を使った説明にチャレンジ①

(年 月 日) 実施日: 月 日

売店の店員さんをお願いしたいこと: 甘いお菓子を増やしてください

売店のお菓子

せんべい 14% 板チョコ 6% クッキー 14%
ポテトスナック 13% カステラ 5% シュークリーム 5%
菓子パン 28% ビスケット 15%

必要となる二乗体のページを黒く塗りつぶす

Aくんの気持ち

「おなががすくと、いつも売店でお菓子を買うのですが、売店には甘いお菓子が多いです。甘いお菓子は2種類しかありません。甘いお菓子が増えたらいいのに、と思います。」

ステップ1: ①と②の部分に名前をつけ、③の中に書く。わからないときは、「Aくんの気持ち」を参考にしよう。

ステップ2: Aくんの気持ちを伝えるために必要な部分を④、⑤から選ぼう()

ステップ3: 以下の文を、Aくんの気持ちと円グラフにあうように完成させよう。

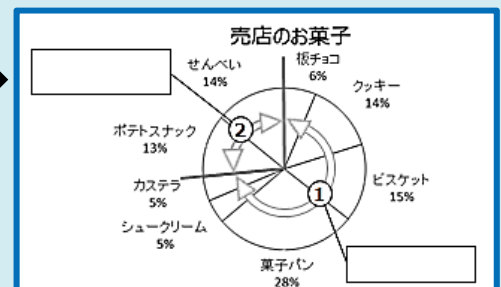
「()お菓子は全体の()%しかないので、もう少し、種類を増やしてくれませんか??」

Aくんの気持ち

「おなががすくと、いつも売店でお菓子を買うのですが、売店には甘いお菓子が多いです。甘いお菓子は2種類しかありません。甘いお菓子が増えたらいいのに、と思います。」

売店の店員さんをお願いしたいこと: 甘いお菓子を増やしてください。

必要な情報をまとめる



説明文に
まとめる

「()お菓子は全体の()%しかないので、もう少し、種類を増やしてくれませんか??」

指導の進め方

1 必要な情報を分類してまとめる

2 情報を要約して説明文にまとめる

3 学習後に振り返ることで定着を図る

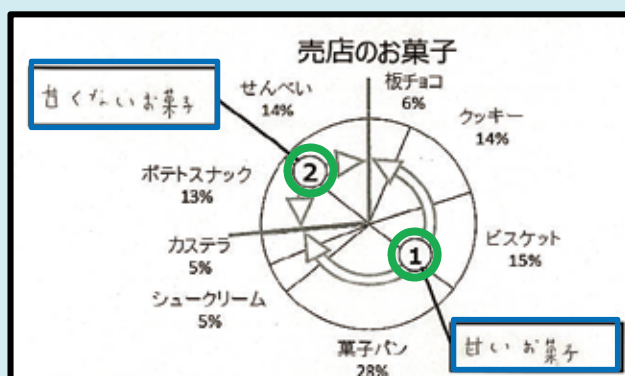
1

必要な情報を分類してまとめる

ステップ1：

図や表に表されている情報を、同じレベルのカテゴリー別に分類します。

①と②の部分に名前を
付け、□の中に書く。



ステップ2：

自分の意見を表すのに必要な情報を見付け出します。

Aくんの気持ちを
伝えるために必要
な部分を①、②か
ら選ぶ。

Aくんの気持ち

「おながやすく、いつも売店でお菓子を買うので
すが、売店には甘いお菓子が多いです。甘くない
お菓子は2種類しかありません。甘くないお菓
子が増えたらいいのに、と思います。」

(②)

2

情報を要約して説明文にまとめる

ステップ3:情報を要約し、ガイドに沿って、説明文を完成させます。

A さんの気持ちと円グラフに合うように完成させる。

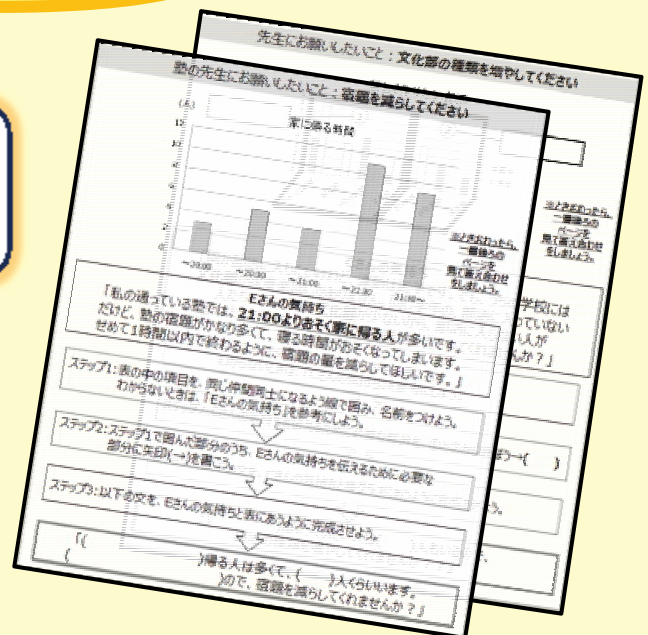
「(甘くない) お菓子は全体の(27)%しかないので、もう少し、種類を増やしてくれませんか??」

3

学習後に振り返ることで定着を図る

様々な課題をステップ 1～3 の順番に学習し、定着を図ります。

解答することに困っているときは、気持ちを示す文章から答えを出すようにアドバイスすると効果的です。



生徒の変容

- * 本教材のステップ 1～3 の手順にそって問題を解くことで、図表を整理する方法が身に付いてきました。
- * 図表の読み取りに繰り返し取り組むことで、社会や数学等の授業で出てくる図表の読み取りに自ら取り組むようになりました。
- * 論理的に話す手順を覚えて、相手に伝わりやすい話し方を心掛けるようになり、積極的に意見を言う場面が増えてきました。

学習を行う上でのポイント

【ポイント①】

興味をもって取り組めるように身近な話題を問題にすることが効果的です。

【ポイント②】

図表に含まれるたくさんの情報から、必要な情報を見付け、整理することで、意見を述べるときにまとめやすくなります。

必要な情報を分類してまとめる

情報を要約して説明文にまとめる

【ポイント③】

まとめられた情報の中から、自分の考えを表すために必要な情報を、見付け出すように促します。

学習後に振り返ることで定着を図る

【ポイント④】

課題を反復して学習することで、図表を読み取る方法が理解できます。

【ポイント⑤】

図表の内容を読み取る方法を学ぶことで、論理的に説明する手順を覚えることができます。最終的に、相手に伝わりやすい表現方法を身に付けることを目指します。

レベル2の教材では、

図表に表されている情報の共通点に気付き、主張する文章を自力で書くことを求めるなど、更に高いレベルの学習ができるように設定してあります。

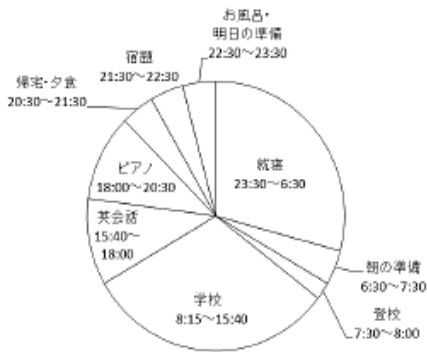
お母さんをお願いしたいこと：
習い事を一つやめたいです

Cさんの気持ち

習い事が多くて、家に帰る時間が遅いので、宿題をする時間や寝る時間が遅くなってしまふことで悩んでいます。

これから高校受験も考えなくてははいけないので、習い事を一つやめて、勉強に余裕をもって取り組めるようにしたいです。

お母さんをお願いしたいこと：習い事を一つやめたいです



Cさんの気持ち

「習い事が多くて、家に帰る時間が遅いので、宿題をする時間や寝る時間が遅くなってしまふことなやんでいます。これから高校受験も考えなくてははいけないので、習い事を一つやめて、勉強に余裕を持って取り組めるようにしたいです。」

ステップ1: グラフの中の項目を、同じ仲間同士になるよう線で囲もう。
(わからないときは、Cさんの気持ちや、プリントの下のヒントを見よう)

ステップ2: ステップ1で囲んだ部分のうち、Cさんの気持ちを伝えるために必要な部分に矢印(→)を書こう。

ステップ3: Cさんの気持ちとグラフの内容を使って、Cさんの気持ちを表す文章を書いてみよう。わからないときは、2-①のプリントを参考にしよう。

今の状態を伝えよう (何に困っているのか)	
お願いと、理由を伝えよう (どうしたいのか、なぜそうしたいのか)	

(→P38)

ステップ1: グラフの中の項目を、同じレベルのカテゴリー別になるよう線で囲む。

ステップ2: ステップ1で囲んだ部分の内、Cさんの気持ちを伝えるために必要な部分に矢印(→)を書く。

ステップ3: Cさんの気持ちとグラフの内容を使って、Cさんの気持ちを表す文章を書く。

今の状態を伝えよう (何に困っているのか)	
お願いと、理由を伝えよう (どうしたいのか、なぜそうしたいのか)	

レベル3の教材では、

ステップ1～3の指示がなくなり、レベル1、2で行ってきたことを自分で思い出しながら、文章を組み立てることが必要となるよう設定してあります。チェックポイントを確認しながら判断し、進めていきます。

チェックポイント	チェック
図表に示されている情報をいくつか使った	
図表の項目をいくつかまとめて、別の言葉で言い換えた	
今の状況、気持ち、お願いしたいことを1～2文で書いた	

先生にお願いしたいこと：文化部を増やしてほしいです

新しくつくりたい部活		
	男子	女子
マンガ・イラスト部	7	8
料理部	7	4
パソコン部	5	2
文芸部	1	3
ダンス部	1	5
自転車部	3	0
水泳部	2	0
		(人)

Cさんの気持ち
「私の学校には運動部は多いのに、文化部が少なすぎると思います。部活に入っていない友達に、あったらいいと思う部活を聞いたら、文化部を答える人が多いです。新しい文化部を作ると、部活動を楽しめる人が増えると思います。」

■問題■
表に示されている情報を使って、Cさんの気持ちを主張する文章を書きましょう。難しいときは、チェックポイントを参考にしましょう。

チェックポイント	チェック
図表に示されている情報をいくつか使った	
図表の項目をいくつかまとめて、別のことばで言いかえた	
今の状況、気持ち、お願いしたいことを1～2文で書いた	

(→P39)

チェックポイントを確認しながら進めます。

先生にお願いしたいこと：
文化部を増やしてほしいです

Cさんの気持ち

「私の学校には運動部は多いのに、文化部が少なすぎると思います。部活に入っていない友達に、あるといいと思う部活を聞いたら、文化部を答える人が多いです。新しい文化部を作ると、部活動を楽しめる人が増えると思います。」

■問題■

表に示されている情報を使って、Cさんの気持ちを主張する文章を書きましょう。

手順がないので、自分の力で文章を組み立てます。